



NPO法人 相馬フォロアーチーム ニュースレター 3月号

発行日 平成27年3月1日

寒い日が続きますが、春の兆しも少しずつ感じられるような季節になってきました。子どもたちは、外遊びや部活動と寒さに負けず運動に励んでいます。さて、ニュースレター3月号では、節分、お菓子作り教室、そうま復興米、“記念日反応”についてお伝えしたいと思います。



節分の豆まき

「福は内、鬼は外！」と節分の日子どもたちの大きな声が教室に響きました。年男の5年生が各学級を回り、豆をまきました。また、子どもたちは鬼の絵と『朝寝坊してしまう鬼』、『宿題を忘れてしまう鬼』、『おしゃべりをしてしまう鬼』など自分の中の追い出したい鬼を書いていました。



お菓子作り



2月8日にLVMH子どもアート・メゾン多目的研修室において相馬市生涯学習推進本部主催の『お菓子作り教室』が開催されました。各地区の公民館で料理教室を開催している千枝浩美先生を講師としてお招きし、小学校1年生～4年生までのお子さんとその家族が参加しました。午前の部と午後の部の2回行われましたが、両時間帯とも多数の申し込みがありました。当日は、トッピングショコラとトリュフ作りに真剣に取り組み、素敵なお菓子が出来上がりました。





相馬のお米

東日本大震災に伴う大津波で、約 1000ha の相馬市の農地が被害を受けましたが、東京農業大学、相馬市、JA そうまによる共同で企画された「そうま復興米」は 2014 年秋には、復興水田が約 200ha に広がり、3 年目を迎えました。福島県による放射能検査はもちろんのこと、東京農業大学でのゲルマニウム検出器による詳しい検査にも合格した「合格米」です。東京農業大学では、「そうま復興米」を大学の食堂で使用し、学園祭をはじめとする各種イベントで販売をしています。昨年の秋に収穫されたお米は、4 月から相馬市の学校給食にも使われる予定です。



3.11を迎えるにあたって

もうすぐ東日本大震災から 4 年を迎えようとしています。震災の日が近づくにつれて“記念日反応(アニバーサリー反応)”というものが生じることがあります。これは、気持ちが落ち込んだりイライラしたり、食欲が減ったり寝つきが悪くなったり、急に当時のことを思い出したりするものです。お子さんの場合は、落ち着きがなくなったり、赤ちゃん返りすることがあります。これは、一旦収まっていた震災後のストレス反応が再燃するからだと言われています。程度の差はありますが、誰にでも起こり得る可能性があるため、反応が生じても焦らずリラックスするように落ち着いていることが大切です。信頼できる人と話したりするのも良いと思います。



～訪問活動日～



相馬フォロアチームでは、臨床心理士等のカウンセラーが児童生徒の心のケア活動、教職員や保護者への相談活動を行っております。

場所	2月の訪問日等
中村二小	3,4,10,17,18,24,25日
中村二中	3,6,10,13,17,20,24,27日
磯部小	4,18,19,20,25日
磯部中	2,4,9,16,18,23日
日立木小	3,10,17,18,24,25日
山上小	2,9,16,23日
アート・メゾンでの相談等	38件



～お問い合わせ先～



お子さんのことでご心配なことはありませんか？
事務所にて、無料の相談も承っております。
下記まで、お気軽にご連絡ください。

〒976-0042
福島県相馬市中村2丁目2-15
LVMH 子ども・アートメゾン
Tel : 0244-35-6200 Fax : 0244-35-6215
Mail : sft@soma-ft.org
HP: <http://www.soma-ft.org/>
Twitter : somaft